



ラグビーワールドカップの福岡市開催が決定しました！
11号はキャンプ地誘致の取り組みと観光プラットフォームに関してです。

らぶ! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第11号

●●● 宗像版の観光プラットフォームとは？ ●●●

宗像市の産業振興は観光産業を中心に行い、宗像版観光プラットフォームを推進することで地域活性化を行う方針です。観光プラットフォームは多面的役割がありますが、本質は、企画、仕入れ、販売という事業を行うことであり、その目的は利益を生み出すことです。

観光プラットフォーム事業は全国的に成果がでていません。その原因は行政頼みの意識による自主独立の決意不足であり、課題は経営的視点のマーケティングと商品のブランディングという企業的な能力不足だと考えられます。この事業は過去3年間は民間企業、27年度より観光協会に委託されることになります。これを機会に補助金に頼らず、利益を生みながら運営し、思い切った事業展開を行うことができるように改善点を行政から示すべきです。

私の前職である海外旅行卸業のビジネスモデルはこの観光プラットフォーム事業と形態が似ています。その経験上、専門的知識や技術を新たに得ることは難しいことから、道の駅の利益を財源に観光全体をコーディネートする人材を公募してはどうか、もしくは、官学連携事業として東海大学福岡短期大学の観光文化研究所の協力で補完してはどうか、と改善策の提案を行いました。

宗像版観光プラットフォームは道の駅むなかたがその集客力を利用して中心となり、観光協会が地域に強い特性を生かして実働する、そこに官学連携事業として東海大学福岡短期大学が協力していく、という形が最も機能すると考えています。

観光地はつくるものです。官民学一丸となり危機感をもって宗像の魅力をかたちにしていきます。



観光庁による観光プラットフォームの定義は「着地型旅行商品の販売を行うため、地域内の着地型旅行商品の提供者と市場（旅行会社・旅行者をつなぐワンストップ窓口としての機能を担う事業体です。これではさっぱりわかりませんが、まずは道の駅に特化して、ここをフックに別の魅力への誘導を考える形をつくるべきです。」

●●●●● キャンプ地誘致の取り組みは？ ●●●●●

2019年にラグビーワールドカップ、2020年に東京オリンピックという2大スポーツイベントが行われます。東京オリンピックは、日本全体の祭典として、活力を取り戻す弾みとなるものと各省庁が積極的な施策展開を行っていきます。また、ラグビーワールドカップは、50年前の東京オリンピックと同様に、アジアで初の開催となり、国際的にも大きな意義を持ちます。このような国際的大イベントが同じ国で2年連続で行われることは史上初であり、国としても「一体的な準備を行い、政府一丸となって万全の対策を図る」、としてあります。



ラグビーワールドカップは福岡市が開催地に選ばれました！

今回の質問で「キャンプ地の誘致準備委員会を立ち上げて、開催地決定後は誘致委員会に移行して、積極的に取り組んでいく」という回答を得ましたのでキャンプ地誘致活動が本格化してきます。

また、東京オリンピックは県内では本市を含めて13の自治体がキャンプ地誘致を希望をしています。友好関係があり新体操で有名なブルガリアを直接誘致してはどうか、と提案しました。

オリンピック・レガシーとは、開催することで長期にわたっていい影響を与える遺産を残す、という国際オリンピック委員会が最も力を入れているテーマです。イベント開催という目標に向かって、市民一体となり準備を行い、どのような遺産が残るのか、明示する必要があります。

この時代の流れに乗り、2大スポーツイベントの開催に向けてどのような施策を展開していくのか。これは未来の宗像市の道しるべとなるものだと考えています。



東海大五高校ラグビー部が全国高校選抜大会に出場します！ラグビー日本代表がこの中から誕生するかも？現在は玄海ジュニアRC出身の福岡選手、宗像サニックスフルーシスのカーンヘス選手、日本の2人が日本代表で選ばれています。日本に、世界に、宗像をアピールしてもらいたいですね。

一般質問の会議映像は宗像市役所ホームページで見ることができます。
また、日々の活動はfacebook【facebook.com/goyo4da】にて。ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

●●●●● 吉田ごう議員活動ダイジェスト ●●●●●



- 平成26年 10月 日の里コミュニティの地区まちづくり特別委員会に宮内代議士と一緒に参加しました。市民目線の活発な議論が長時間に渡り行われ、団地の再生と日の里の特徴をいかしたまちづくりを目指し提言書を作成されています。
- 11月 議会報告会が行われ、カフェ形式で市民のご意見を伺いました。JAとの勉強会や事務組合会議なども開かれました。日々、情報と知識を増やす必要性を感じます。
- 12月 定例会、衆議院選挙、忘年会、年末のご挨拶と大忙し。議員活動も3年目にはいりますがなかなか余裕はできません。